

國枝松守 以然 儒者、歌人。寛政八年四月七日尾張國名古屋生れ、  
 明治十二年十月十五日歿（七六一―七八〇）。講惟煦、煦と修す、字成卿。  
 別號丹邱、東郵、東郵書屋、東郵林老、東郵漁、老足、老足茸等。學  
 き奥田鸞谷に受けた。恆に赤穂義士の事蹟を欽慕、「義人録補正」に  
 卷々善けす。晩年舊藩主に拔擢せられ上班に列した。詩文も長じ、和  
 歌も能くす。田宮如雲、松本奎堂等と交友、門下は丹羽花南、田中不  
 二海等。

『松守遺稿』（大正七年十一月五日愛知・玉潤堂）がある。

